子どもの健全な成長へ

須市教委 学社連携実践発表会

地域に合った取り組みを紹介した実践発表会

須賀川市教委の学校教育・社会教育連携・融合実践発表会は18日、市文化センターで開かれ、実践発表や判別会議で今年度の成果と課題について意見を交換した。

社会の急激な変化に伴い、青少年を取り巻く教育環境が大きく変わりつつある現実を踏まえ、学校教育と社会教育がそれぞれ独自の教育機能を発揮しながら連携・融合を図るとともに、学習の場や活動など両者の要素を重ね合わせ、一体となって市の幼児および児童生徒の健全な成長と生きる力の育成を目指すことを目的に平成11年度から実施している。

坂野順一教育長が「多くの実践により特色ある地域づくりが進められている。意義を理解してマンネリ化しないようにすることである。地域別の話し合いを深め、次年度への取り組みに反映させることを望む」とあいさつした。

実践発表では仁井田公民館が「公民館と幼稚園が連携して実施する子育て支援の共催事業」と題して、塚目充也館長、吉田郷子仁井田幼稚園教諭が乳幼児を持つ親の孤立化と育児不安がある現状を踏まえた取り組み、また西袋公民館は「学校、地域、家庭が連携協力して、地域全体で子どもを育てる環境の醸成」と題して飛木孝久館長が西袋一小、西袋二小、西袋中と連携したメディアをコントロールする生活を推進するMCL（メディアコントロールライフ）運動などを紹介した。

引き続き、班別懇談会が開かれ、学社連携事業の成果と課題について、定期的な情報交換をする計画づくり、社会教育施設や地域人材の活用などを話し合った。